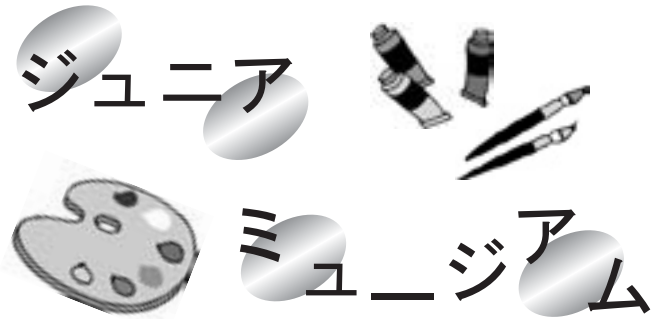


きのう、横ゼ小学校の体育館で、ミニバスケの大会がありました。わたしたちと、さい初にたたかうのは、原谷ミニバスでした。そのチームは、強くて、勝てるかドキドキしました。試合が始まる時間です。第二クォーターが始まりました。ジャンプをして、ボールをしかかれ、ボールを取られてしまいました。10秒ぐらいでシュートを入れた

「試合」

関根 弥月さん



れてしまいました。わたしは、「くやしー」と思い、たたかっている人に、「がんばれー!」と大きい声で言いました。三分ぐらいになって、やっとシュートが入りました。第一クォーターは、7対12でした。わたしは、第二クォーターに出ました。「がんばるぞ。」と思い、コートの中に入りました。第二クォーターが始まり、わたしは、原谷小17番のマークに付きましました。Aさんからパスをもらい、「ドリブルシュート!。」と思いシュートしたら、しんぱんの笛が鳴り、「トラベリング!。」と声がかかりました。わたしは、思わず、「あー!。」と言いました。「あと少しだったのに、よし!次はがんばるぞ。」と気持ちを入れかえました。そして、次にBさんがわたしのパスを出しました。がんばってシュートしたら、みごと入りました。「やったー!。」第二クォーターが終わわり、第三クォーターが始まりました。わたしは、おうえんにまわりました。「がんばつて!。」と声をかけるとみんなが、「オーケー!。」とか、「うん!。」と言ってくれました。みんながどんどんシュートをして、76対26になりました。「みんなすごい!。」と言ったところで、第三クォーターが終わりました。第四クォーターになりました。原谷も負けないうようにがんばって、同点になってしまいました。5秒前に、Cさんがシュートを入れて、77対76で勝ちました。Tさんがうれし泣きをしました。勝つて、本当にうれしかったです。(評) すこい試合でした。その時のみんなの様子や気持ちが伝わってくる、流れのある文が書けました。

小四 雨宮樹奈さん
はす

(お父さんからのコメント) おばあちゃん、アイスの棒をためて置いてと言われ、何をやるのかなと思っていたら、割りばしや竹串を木工ボンドで貼り合わせ、毎日こつこつ工夫して作っていました。暉一郎、きちんと定規で測ってやらないとだめだろうと言うと、頭の中に入っているから大丈夫と言って作っていました。



村田 暉一郎くん

小五 田中雅希さん
土地



田中 雅希くん

「キヤー!つめたいよ」
田島 美波さん

(評) プールに入る前のシャワー!冷たいけど頑張るぞ、美波さんの意気込みが感じられます。